

2月22日から松戸市議会3月定例会がスタートしました！

一般会計は1,667億4千万円

松戸市議会月定例会が、2月22日から3月23日までの会期でスタートしました。新型コロナウイルスの拡大に揺れる中、4月からの新年度予算を編成するための重要な議会となっています。

一般会計予算は前年度比7.5%増の1,667億4千万円で、過去最高となりました。コロナ禍での経済低迷を受け、市税収入は減少を見込まざるを得ません。しかし、国からの交付金が手当てされることを受けて、結果的に増額予算となっています。

議会初日の施政方針演説で本郷谷健次市長は、コロナで苦しむ市民生活と経済をそれぞれ力づけていきたい旨の発言を盛り込みながら、市としてもコロナの終息につながる政策を展開していく決意を述べました。具体的には、4月以降始まる新型コロナウィルスワクチンの提供体制を万全に整えることや、PCR検査の幅広い市民への実施などをもって、感染の抑え込みに寄与したい考えです。

コロナウィルスと私たちの戦いはまだ道半ばです。市民の命と健康を第一に考える予算の執行を目指して、3月議会に臨んでいます。

コロナウィルスと私たちの戦いはまだ道半ばです。市民の命と健康を第一に考える予算の執行を目指して、3月議会に臨んでいます。



どうなるゴミ焼却場と庁舎移転

令和3年3月議会の開催前の2月15日、市議会の全員協議会の場で、本郷谷市長は新ゴミ焼却場建設を2年間後倒しして、令和17年のスタートとする計画を公表しました。その理由としては、ゴミの広域処理に関する可能性を探るため、調査研究に時間を要すると判断したということです。いうまでもなく、ゴミ処理は、市民生活の根幹にかかわる重要な問題です。現在の松戸市は、他市に焼却ゴミを持ち込んで処理をお願いしている立場にあります。本来ゴミは、自区処理として、排出した地域ごとに処分することが原則です。他市に依存している現状を鑑みても、一刻も早く新ゴミ焼却施設を建設する必要があるため、今回の本郷谷市長の判断には議会の一部から批判の声が上がっています。

さらに、市庁舎の移転先である相模台地域の大規模開発を市長が積極的に推進している事にも、疑問を呈する議員は少なくありません。不安定な市の財政状況にあって、大規模事業を進めるには、明快な予算案の提示をする必要が市にはあります。



みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ 信矢** 検索

連絡先 松戸市金ヶ作418-94